

池間島の動物方言

仲地 邦博

はじめに

2009年、ミヤークヅツのウイディウヤ（初出親）になったのを機に故郷・池間島の方言をもっと知りたくなり、語彙の収集を始めた。最初は家族と親族から聞き取りをした。

同年、宮古語（宮古方言）は消滅危機にある言語としてユネスコ“Atlas of the World's Languages in Danger”（第3版）に掲載された。驚くとともに、私にも池間方言（イキマフツ）を伝える義務があることを痛感した。

2012年に宮古島市史編委員に任命され、久貝勝盛、当山昌直両氏から聞き取り調査の方法を学ばせてもらい、語彙の収集を進めた。

2015年からは、語源の調査を始めたが遅々として進まなかった。池間島の祖先の自然観や命名法はある程度は理解できたと思える日（例：ヒトデのことをフスと呼ぶが、天の星でもある）と、現在は使われていない単語（例：ズキラ、イスダなど）が現れ前に進めない日が交互に来るからである。

それに、協力して下さった方々が亡くなり、語彙の収集・語源調査も難しくなってきた。そこで、発表の機会をいただき、これまで集めた語彙・語源を記録として残したい。例えば公文書や新聞記事における糸満方言の「ミーバイ」や「イラブチャー」表現を、池間方言（佐良浜方言、西辺もほぼ同じ）「ニバラ」や「イラウツ」にして欲しいと願う。

分類群ごとに和名、学名、池間島の方言、語義や特徴などの順にまとめた。無脊椎動物を5門182種、脊椎動物も5門419種を合計で601種を収集した。

無脊椎動物

I. 刺胞動物門 Cnidaria

花虫綱 Anthozoa

イシサンゴ目 Scleractinia

池間島の人々は主にサンゴの形状によって分類してきた。よって種を同定することは不可能である。ここでも池間島の人々が使用して来た分類を使わせてもらう。

1. テーブルサンゴ類

カサシ ティラ墓を覆う屋根などに使用。

2. 樹枝状サンゴ（ミドリイシ）類

ウル・イス 折れやすい、折れたり砕けたりしたサンゴを庭に撒いた。

3. 塊状サンゴ類

ツグッラ キクメイシ類やノウサンゴ類は建築用礎石、脱穀に使用。

4. クサビライシ類

ハウウルイス or ハイツグッラ ある程度移動できる。

※サンゴの産卵 イン・ズー 海の血、サンゴの産卵で海面が赤く帯状に染まる様子。独特の匂いがする。5~6月に一斉産卵。

ヤギ目 Gorgonacea

イソバナ科 Melithaeidae

5. オオイソバナ *Melithaea ochracea*

イン・ギー 海の木

6. リュウキュウイソバナ *Wrightella tongaensis*

アカ・イン・ギー 赤い海の木。

イソギンチャク目 Actiniaria

7. イソギンチャク類 アツバミー 語源は不詳。

ヒドロ虫綱 Hydrozoa

管クラゲ目 Siphonophora

カツオノエボシ科 Physaliidae

8. カツオノエボシ *Physalia physalis*

アウ・ディーラ 青い刺すクラゲ、刺されると強烈に痛む。

箱虫綱 Cubozoa

立方クラゲ目 Cubomedusae

ネッタイアンドンクラゲ科 Chirodropidae

9. ハブクラゲ *Chironex yamaguchii*

ッス・ディーラ 白い刺すクラゲ 刺されると激痛を感じ、刺された箇所はミミズ腫れになる。患部には食酢をかける。

鉢虫綱 Scyphozoa

根口クラゲ目

タコクラゲ科 Mastigiidae

10. タコクラゲ *Mastigias papua*

ッツ・ガマ・ツカナイ 小魚を育てるクラゲ、褐虫藻と共生する。

II. 棘皮動物門 Echinodermata

ヒトデ綱 Asteroidea

アカヒトデ目 Valvatida

オニヒトデ科 Acanthasteridae

1. オニヒトデ *Acanthaster planci*

ウン・カツツ 語源は不詳。

ホウキボシ科 Ophiasteridae

2. アカモンヒトデ *Neoferdina cumingi*

フス フスは星のことでヒトデ類の総称。

3. アオヒトデ *Linckia laevigata*

アウ・ヤツダ 青いヤツダ、語源は不詳。

4. アカヒメジュズベリヒトデ *Formia*

milleporella アカ・フス 赤いヒトデ。

オレアステル科 Oreasteridae

5. コブヒトデ *Oreaster nodosus* フス

ウニ綱 Echinoidea

ホンウニ目 Camarodonta

ラツパウニ科 Toxopneustidae

6. シラヒゲウニ *Tripneustes gratilla*

カツツ 語源は不詳、美味。

ナガウニ科 Echinometridae

7. パイプウニ *Heterocentrotus mammillatus*

アカ・ウン 赤いウニ、パイプのような太く長い棘をもつ。棘は風鈴に利用され、涼しげな音が鳴る。

ガンガゼ目 Diadematoida

ガンガゼ科 Diadematida

8. ガンガゼ *Diadema setosum*

アサ・ウン 長い棘に毒があり、刺されると激しく痛む。

ナマコ綱 Holothuroidea

無足目 Apodida

イカリナマコ科 Synaptidae

9. オオイカリナマコ *Synapta maculata*

フカツ・ヌ・フー 深い場所のフー、フーの語源は不詳。伸びると3mにもなる。

楯手目 Aspidochirotida

クロナマコ科 Holothuriidae

10. クリイロナマコ *Actinopyga mauritiana*

アカ・ツツー ツツーはナマコ類の総称。色+ツツーは多用された。食用、乾物にして琉

球王国に物産税として納付。

11. クロナマコ *Holothuria atra*
12. ニセクロナマコ *H. leucospilota*
ツフ・ヅツー 黒いナマコ。
13. フタスジナマコ *Bohadschia bivittate*
14. ジャノメナマコ *B. argus*
15. ハネジナマコ *Holothuria scabra*
ツツーはナマコ類の総称。

シカクナマコ科 Stichopodidae

16. バイカナマコ *Thelenota ananas* ツツー
17. シカクナマコ *Stichopus chloronotus*
カイサン・ヅツー 海産物として輸出。

Ⅲ. 環形動物門 Annelida

貧毛綱 Oligochaeta

1. ミミズ類 ズミジャ、ズミズ 語源は不詳。

ヒル綱 Hirudinea

2. ヒル類
ター・ヌ・スウビィー ヒル類の総称、湿地の血を吸う奴。

Ⅳ. 軟体動物門 Mollusca

多板綱 Polyplacophora

新ヒザラガイ目 Neoloricata

1. ヒザラガイ類
クズミヤ 語源は不詳、潮干狩りの獲物が少ない時は食べた。

二枚貝綱 Bivalvia

イガイ目 Mytilida

イガイ科 Mytilidae

2. リュウキュウヒバリガイ *Modiolus auriculatus*

ギスグヤ 語源は不詳。食用、群生して沢山取れた。

ハボウキガイ科 Pinnidae

3. ハボウキガイ *Pinna bicolor*
トゥイ・ガマ・スダサー 小鳥を巣立たてさせる貝、間違つて踏んでしまうと足を怪我する。

ウグイスガイ目 Pterioida

ウグイスガイ科 Pteriidae

4. クロチョウガイ *Pinctada margaritifera*
ツシ・ガヤ 語源は不詳、飾り物。

カキ目 Ostreida

イボタガキ科 Ostreidae

5. オハグログキ *Saccostrea mordax* など
ツシ・ヌ・ツファ 磯の子、食用ではない。

マルスダレガイ目 Venerida

マルスダレガイ科 Veneridae

6. アサリ *Ruditapes philippinarum*
アサカイ 語源は不詳、みそ汁の具。
7. リュウキュウナミノコガイ *Donax faba*
タマビー 語源は不詳、みそ汁の具。

チドリマスオガイ科 Mesodesmatidae

8. イソハマグリ *Atactodea striata*
シナ 二枚貝の総称、みそ汁の具。

サルガイ科 Cardiidae

9. シャゴウガイ *Hippopus hippopus*
フグラガイ 他のシャコガイより好む人もいる。
10. ヒメシャコガイ *Tridacna crocea*
11. シラナミガイ *Tridacna maxima*
12. ヒレシャコガイ *Tridacna squamosa*

- 13.トガリシラナミ *Tridacna noae*
14.ヒレナシシャコガイ *Tridacna derasa*
ニグー シャコガイの総称、語源は不詳。美味、シャコガイの殻はアズクヤ。
15.オオシャコガイ *Tridacna gigas*
カイ 以前はいたが、近年は見つからない。古い殻は見つかる。絶滅の心配がある。

腹足綱 Gastropoda

古腹足目 Vetigastropoda

ミミガイ科 Haliotidae

- 16.ミミガイ *Haliotis asinine*
アービ アワビ類・トコブシ類の総称、食用。苧麻の茎から繊維を削り取る道具に使用。

リュウテン科 Turbinidae

- 17.チョウセンサザエ *Turbo argyrostomus*
ンナ 潮干狩りの最大の目的、美味。殻はンナ・グー。オカヤドカリが使用。
18.ヤコウガイ *Turbo marmoratus*
ヤク・ガイ 螺鈿細工に使われる。

ニシキウズガイ科 Trochidae

- 19.サラサバティ *Tectus niloticus*
タカ・ンナ 背の高いンナ (サザエ)、高瀬貝としてボタンの高級材料として取引された。食用。
20.ニシキウズガイ *Trochus maculatus*
タマ サラサバティより小型、食用。

盤足目 Discopoda

ムカデガイ科 Dendropoma

- 21.フタモチヘビガイ *Dendropoma maximu*
ミガイ 語源は不詳、食用、美味。

ソデボラガイ科 Strombidae

- 22.スイジガイ *Lambis chiragra*

ビキ・ヤドウムラ 雄のヤドウムラ、魔除けで門につるす。

- 23.クモガイ *Lambis lambis*

ミー・ヤドウムラ 雌のヤドウムラ。

- 24.マガキガイ *Strombus luhuanus*

ティラジャ 美味。

トウカムリガイ科 Cassidae

- 25.トウカムリ *Cassis cornuta*

センネンガイ 語源は不詳。

新腹足目

オニコブシガイ科 Turbinellidae

- 26.オニコブシガイ *Vasum ceramicum*
27.コオニコブシ *Vasum turbinellum*
ヌサ 語源は不詳、食用。

アッキガイ科 Muricidae

- 28.レイシガイ *Reishia bronni*
レイシガイ類もヌサ 語源は不詳、食用。

ホラガイ科

- 29.ホラガイ *Charonia tritonis*

サグナ 語源は不詳。貝殻はブラ、食用・装飾品。

フデガイ科 Mitridae

- 30.チョウセンフデガイ *Mitra mitra*
ナガ・ブラ 長いフデガイ、フデガイ類の総称。

イトマキボラ科 Fasciolaridae

- 31.イトマキボラ類
フカル・ンナ 深い所のサザエ類、貝殻、食用。

アマオブネガイ目 Neritimorpha

アマオブネガイ科 Neritidae

- 32.キバアマガイ *Nerita plicata*
 33.ニシキアマオブネ *Nerita polita* など
 フウドウラ 語源は不詳。

吸腔目 Sorbeoconcha

カワニナ科 Pleuroceridae

- 34.カワニナ *Semisulcospira libertina*
 ナガ・ブラ 湿地にいた。

タカラガイ科 Cypraeidae

- 35.キイロダカラ *Monetaria moneta*
 36.ハナマルユキ *Monetaria caputserpentis*
 37.ハナビラダカラ *Cypraea annulus* など
 スビー タカラガイの総称。語源は不詳、
 古代に貨幣として使用された。
 38.ホシダカラ *Cypraea tigris* など
 ハン・ツキ・ツフ・ウス 模様付きの大きな
 宝貝、貝殻。

ウミウサギ科 Ovulidae

- 39.ウミウサギ *Ovula ovum*
 ッス・スビー 白いタカラガイ。

イモガイ科 Conidae

- 40.クロミナシ *Conus bandanus* など
 ウヤンマやウス イモガイ類の総称、語源
 は不詳。

裸鰓目 Nudibranchia

- 41.ウミウシ類
 マズムヌ・イカ 化け物 (異様な) イカ

頭足綱 Cephalopoda

閉眼目 Myopsida

ヤリイカ科 Loliginidae

42.アオリイカ *Sepioteuthis lessoniana*

大きさがマミハダ (幼体)、ヒー・イカ (昼
 間のイカ)、ユー・ヌ・イカ (夜のイカ) と
 区別、イカ類の総称はイキャと呼んでいる。
 非常に美味。

ツツイカ目 Teuthoidea

ソデイカ科 Thysanoteuthidae

- 43.ソデイカ *Thysanoteuthis rhombus*
 ドゥー・(イ) キャ 胴の大きなイカ。糸満
 の方言のセーイカも使用

コウイカ目 Sepiida

コウイカ科 Sepiidae

- 44.コブシメ *Sepia latimanus*
 クウ・スミヤ 甲と墨を持つ、非常に美味で
 行事の供え物に欠かせない。

タコ目 Octopoda

マダコ科 Octopodidae

- 45.ワモンダコ *Octopus cyanea*
 タク 美味、行事の供え物。
 46.イイダコ *Octopus ocellatus*
 ンヌズ 語源は不詳、小型、食用。
 47.ウデナガカクレダコ *Abdopus aculeatus*
 スガイ 語源は不詳、小型、食用。

【イカ・タコ類の部位名】

※コブシメの甲羅 ットゥトゥ・グー ハリセ
 ンボンの～

※イカの骨 (舟) スーニ・ガマ 小舟

※イカのスミ ツフィ 黒い物

※イカの口 ガラサ 形がカラスに似ている

※イカ・コブシメの胴 サヤ

※腕 ティー 手のこと

※触腕 ナガ・ティ 長い手

※頭 カナマイ/カンマイ 頭のこと

V.節足動物門 Arthropoda

甲殻綱 Crustacea

ワラジムシ目 (等脚目) Isopoda

フナムシ科 Ligiidae

1.フナムシ *Ligia exotica*

カー・ムサ カー (井戸) の虫、素早く逃げる。

軟甲綱 Malacostraca

シャコ (口脚) 目 Stomatopoda

フトユビジャコ科 Gonodactylidae

2.フトユビジャコ *Gonodactylus chiragra* など

ツミヤ シャコ類の総称。強靱な爪(ツミヤ)を武器にしている。

十脚目 Decapoda

クルマエビ科 Penaeidae

3.ウシエビ *Penaeus monodon*

スウティ・ヌ・フウ・ジャイ 潮の流れのある場所に住む大きなエビ。

4.クルマエビ *Marsupenaeus japonicus*

サイ (シャイ) エビ類の総称。大型で美味。

イセエビ科 Palinuridae

5.アマミイセエビ *Panulirus femoristriga*

6.カノコイセエビ *Panulirus longipes*

イビ (ガン) イビはエビの変形、美味。

7.ゴシキエビ *Panulirus versicolor*

アウ・イビ 青いエビ、大型で剥製にして飾る。

テナガエビ科 Palaemonidae

8.イソスジエビ *Palaemon pacificus*

ヒゲ・ジャイ 髭の長いエビ、かき揚げにすると美味、小型のエビ。

オキナワアナジャコ科 Thalassinidae

9.オキナワアナジャコ *Thalassina anomala*

イーマク 語源は不詳、大きな塚を作る。

スナホリガニ科 Hippidae

10.スナホリガニ *Hippa marmorata*

ムーター 語源は不詳、砂を素早く掘って隠れる。素揚げにした。

ヤドカリ科 Diogenidae Ortmann,

11.アオボシヤドカリ *Dardanus guttatus*

12.コモンヤドカリ *Dardanus megistos* など
イン・アマン (海のヤドカリ) は総称。

ガラッパ科 Calappidae

13.ソデカラッパ *Calappa hepatica*

フナ・ガン 語源は不詳。

14.メガネガラッパ *Calappa philargius*

マズムヌ・ガン 異様なカニ。

ワタリガニ科 Portunidae

15.タイワンガザミ *Portunus pelagicus*

ガザン、バタラ 語源は不詳。バタラは泳ぐ。美味。

16.アミメノコギリガザミ *Scylla serrata*

ツヌ・ガン 角の有るガザミ、大型で美味。

17.ナマコマルガザミ *Lissocarcinus orbicularis*

マズムヌ・ガン 魔物カニ、ナマコと共生。

ベンケイガニ科 Sesarmidae

18.クロベンケイガニ *Chiromantes dehaani*

イー・バイミヤ 北の走り回るカニ。

ミナミコメツキガニ科 Mictyridae

19.ミナミコメツキガニ *Mictyris brevidactylus*

フウ・ムラ・ガン 大きな群れをつくるカニ。大量の砂団子を作る、鳥類の主要な餌。

スナガニ科 Ocypodidae

20. ミナミスナガニ *Ocypode cordimanus*
 21. ツノメガニ *Ocypode ceratophthalmus*
 ハイミヤ 砂浜を素早く走り回るカニ。
 22. オキナワハクセンシオマネキ *Uca lactea perplexa* 23. ルリマダラシオマネキ *Uca tetragonon* 24. ベニシオマネキ *Paraleptuca crassipes* など
 フ・ズミヤ・ガン 大きな爪を持つカニ、シオマネキ類の総称。

オカヤドカリ科 Coenobitidae

25. ヤシガニ *Birgus latro*
 マク・ガン ヤシガニ保護条例を制定したが、まだ珍味として提供されている。絶滅危惧 II 類 (VU)。
 26. オオナキオカヤドカリ *Coenobita brevimanus* 27. オカヤドカリ *Coenobita cavipes* 28. ムラサキオカヤドカリ *Coenobita purpureus* 29. ナキオカヤドカリ *Coenobita rugosus*
 アマン 語源は不詳、オカヤドカリ類の総称、沢山いたので釣りの餌に使っていた。天然記念物。

オカガニ科 Gecarcinidae

30. オオオカガニ *Cardisoma carnifex*
 31. オカガニ *Cardisoma hirtipes*
 アラ・ガン 気性の荒いカニ? 夏の満月の夜に一斉産卵する。殻が堅くて食用には不適。

イワガニ科 Grapsidae

32. オオカクレイワガニ *Geograpsus crinipes*
 33. カクレイワガニ *Geograpsus grayi*
 イサウ・ガン 語源は不詳、逃げ足が速い。

サンゴガニ科 Trapeziidae

34. オオアカホシサンゴガニ *Trapezia rufopunctata* マズムン・ガン 魔物カニ。

ヤスデ綱 Diplopoda

35. ヤスデ類 ヤマ・ザミ ヤスデ類の総称。

ムカデ綱 Chilopoda

36. ムカデ類 ンカジ ムカデ類の総称。

クモ綱 Arachnida

サソリ目 Scorpiones

キョクトウサソリ科 Buthidae

37. マダラサソリ *Isometrus maculatus*
 トウラ サソリ類の総称。

サソリモドキ目 Thelyphonida

サソリモドキ科 Thelyphonidae

38. タイワンサソリモドキ *Typopeltis crucifer*
 トウラ サソリ類の総称。

クモ目 Araneae

39. クモ類の総称
 ヤーコウ 語源は不詳。クモの巣 カシハマ 語源は不詳。

ジョロウグモ科 Nephilidae

40. オオジョロウグモ *Nephila pilipes*
 クー 他のクモ類と区別、語源は不詳。

昆虫綱 Insecta

咀顎目 Psocodea

ヒトジラミ科 Pediculidae

41. ヒトジラミ *Pediculus humanus*
 ッサン 昔は頭髪にもいた。

ノミ目 Siphonaptera

42. ノミ類の総称 スン 語源は不詳。

トンボ目 Odonata

イトトンボ科 Coenagrionidae

43. リュウキュウベニイトトンボ *Ceriagrion auranticum* 44. アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* など
ヤーマ・ヌ・ヒイタイ 八重山の兵隊さん。

ヤンマ科 Aeshnidae

45. トビイロヤンマ *Anaciaeschna jaspidea*
46. ギンヤンマ *Anax parthenope* など
フユイ・ヌ・アウスン 大きなトンボの意？

トンボ科 Libellulidae

47. アオビタイトンボ *Brachydiplax chalybea flavovittata* 48. ショウジョウトンボ *Orthetrum sabina sabina* 49. ハラボソトンボ *Crocothemis servilia mariannae* など
アウスン トンボ類の総称、語源は不詳。
50. ベッコウチョウトンボ *Rhyothemis variegata imperatrix*
ベッコウ・トンボ 鼈甲模様の翅を持つトンボ。
51. ウスバキトンボ *Pantala flavescens*
カディ・フカス・アウスン 大風を吹かすトンボ、台風前に多く飛んで来る。

ナナフシ目 Phasmatodea

ナナフシ科 Phasmatidae

52. ミヤコナナフシ *Entoria okinawaensis*
53. ミヤコエダナナフ *Phraortes miyakoensis*
カン・ヌ・ヌーマ／ウナタリ・カタ 神様の馬。

カマキリ目 Mantodea

カマキリ科 Mantidae

54. ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*
55. ウスバカマキリ *Mantis religiosa* など
サールガ・ムータ カマキリ類の総称。語源は不詳。

ゴキブリ目 Blattodea

ゴキブリ科 Blattidae

56. ワモンゴキブリ *Periplaneta americana*
ビーヤ 語源は不詳、ゴキブリ科で最大。

チャバネゴキブリ科 Blattellidae

57. チャバネゴキブリ *Blattella germanica* など
クームヤ 語源は不詳。

直翅(バッタ)目 Orthoptera

コオロギ科 Gryllidae

58. カマドコオロギ *Gryllodes sigilatus*
ツナツジャ コオロギ類の総称、語源は不詳。

ケラ科 Gryllotalpidae

59. ケラ *Gryllotalpa orientalis*
ワー・クラシャ 豚を殺す者。

キリギリス科 Tettigoniidae

60. クビキリギリス *Euconocephalus thunbergii*

クツワムシ科 Mecopodinae

61. タイワンクツワムシ *Mecopoda elongate*

ツコムシ科 Phaneropteridae

62. ダイトウクダマキモドキ *Phaulula daitoensis* など
ワー・ヌ・ツー・ガタ 語源は不詳、鳴く虫の総称。

バッタ科 Acrididae

63. ショウリョウバッタ *Acrida cinerea*

アウ・カタ 青い(緑の)バッタ。

64. マダラバッタ *Aiolopus thalassinus tamulus*

65. タイワンツチイナゴ *Patanga Succincta*

など カタ バッタ類の総称。以前は、形や大きさで細かく分類していた。

半翅目 (カメムシ目) Hemiptera

セミ科 Cicadidae

66. クマゼミ *Cryptotympana facialis*

(フウ)・カーラ・ツミヤ 大きく、喧しく鳴く。

67. ミヤコニイニイ *Platypleura kaempferi*

ヒサ・ツミヤ 平たいセミ。

68. イワサキクサゼミ *Mogannia minuta*

ナマダン・ツミヤ 鳴いてばかりいる怠け者のセミ。日本最小のセミ。

アメンボ科 Gerridae

69. セスジアメンボ *Neogerris parvulus* など

アミ・ツファシャ 雨を降らす者。

カメムシ亜目 Heteroptera

70. アカホシカメムシ *Dysdercus cingulatus*

71. アカギカメムシ *Cantao ocellatus*

72. ナナホシキンカメムシ *Calliphara nobilis*

ヒー・ヒキ・ムス おならをする臭い虫。ツ・ムズとも言う、語源は不詳。

アオバハゴロモ科 Flatidae

73. アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*

チュルチュル・ガマ 語源は不詳。

鞘翅目 (甲虫目) Coleoptera

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

74. ツヤコツブゲンゴロウ *Noterus nitidulus*

75. コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus*

カーミ・ガマ 小さい亀。

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

76. トビイロゲンゴロウ *Cybistrini sugillatus*

77. ヒメフチトリゲンゴロウ *Cybister rugosus*

カーミ・ガマ ゲンゴロウ類の総称、小さいカメ。湿地の水溜りに生息。

コガネムシ科 Scarabaeidae

78. アオドウガネ *Anomala albopilosa*

アウ・マウサ 青い(緑の)マウサ、の語源は不詳。

79. リュウキュウツヤハナムグリ *Protaetia*

pryeri ンー・バトウ 語源は不詳。

ホタル科 Lampyridae

80. キイロスジボタル *Curtos costipennis*

81. ミヤコマドボタル *Pyrocoelia miyako*

ヤーンブ 語源は不詳。

テントウムシ科 Coccinellidae

82. ナナホシテントウ *Coccinella*

septempunctata 83. ダンダラテントウ

Cheilomenes sexmaculata など

タマス・ガマ 小さな魂、テントウムシの総称。

カミキリムシ科 Cerambycidae

84. ゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca*

85. イツホシシロカミキリ *Olenecamptus*

bilobus nipponensis

アー・フウ・ムス カミキリムシの総称、栗を食べる虫。

膜翅目 (ハチ目) Hymenoptera

アナバチ科 Sphecidae

86.コクロアナバチ *Isodontia nigella* 87.キンモウアナバチ *Sphex flammitrichus* など
ンタ・ファヤ 泥を口で運ぶ様子が、土(ンタ)を食べている(ファヤ)ように見える。

スズメバチ科 Vespidae

88.キアシナガバチ *Vespa analis*
フンマ・バス 中型の蜂類の総称。
89.オキナワチビアシナガバチ *Ropalidia fasciata*
カヤ・バタ ススキやチガヤ(萱)にいる小型の蜂類(バタ)の総称。
90.ツマグロスズメバチ *Vespa affinis* など
トーンマ・バス 大型のハチ(スズメバチ類)の総称。

ミツバチ科 Apidae

91.ニホンミツバチ *Apis cerana japonica*
ンマ・バス 語源は不詳。

アリ科 Formicidae

92.アシナガキアリ *Anoplolepis glacilipes*
93.クロトゲアリ *Polyrhachis dives* など
アカイ アリ類の総称、語源は不詳。

双翅目(ハエ目) Diptera

カ科 Culicidae

94.ネッタイシマカ *Aedes aegypti* など
カジャン カ類の総称、語源は不詳。
95.コバエ類(ミバエ科 Tephritidae、ショウジョウバエ科 Drosophilidae など)の総称
ス・バイ 語源は不詳。

イエバエ科 Muscidae

96.イエバエ *Musca domestica*
97.フタスジイエバエ *Musca sorbens* など

ハイ ハエから変化、ハエ類の総称。

クロバエ科 Calliphorida

98.オビキンバエ *Chrysomya megacephala*
など アウ・バイ 青いハエ。

鱗翅目(チョウ目) Lepidoptera

チョウ類

99.シロオビアゲハ *Papilio polytes*
100.オオゴマダラ *Idea leuconoe*
101.スジグロカバマダラ *Salatura genutia*
102.ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*
103.アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*
104.クロボシセセリ *Suastus gremius* など
アヤ・バシヤ 美しい羽。幼虫はアウ・ムス(青い虫)。

ガ類

105.キイロヒトリモドキ *Asota egens confinis*.
106.ワタノメイガ *Haritalodes derogata*
107.オオスカシバ *Cephonodes hylas hylas*
など
グーニャはガ類の総称、語源は不詳。毛虫はフギャン。

脊椎動物

陸域の魚類

硬骨魚綱 Osteichthyes
ウナギ目 Anguilliformes
ウナギ科 Anguillidae

1.オオウナギ *Anguilla marmorata*
ター・ナズ 湿地のウナギ。

タウナギ目 Synbranchiformes

タウナギ科 Synbranchidae

2.タウナギ *Monopterus albus*

アウ・ナズ 青っばいウナギ。

カダヤシ目 Cyprinodontiformes

カダヤシ科 Poeciliidae

3.カダヤシ *Gambusia affinis*

バイキングマ とっても小さい魚。

スズキ目 Perciformes

カワスズメ科 Cichridae

4.テレピア *Oreochromis mossambicus*

テレピア 戦後、食料として導入。

海域の魚類

普通、物と名前は1対1で対応する。しかし池間島の漁師の皆さんはある共通した特徴を持つ魚のグループを一つにまとめて、それに名前を付けている。そのため、複数の魚に同じ名前が付くことになる。また、色+魚名の命名もとても多い。

軟骨魚綱 Chondrichthyes

メジロザメ目 Carcharhiniformes

メジロザメ科 Carcharin

1.メジロザメ *Carcharhinus plumbeus*

イッチャウ 語源は不詳。

2.オオメジロザメ *Carcharhinus leucas*

ナガ・ジュー 尾が長いサメ。

3.イタチザメ *Galeocerdo cuvier*

ナカー・サバ 海の中層を泳ぐサメ。

4.アカシュモクザメ *Sphyrna lewini*

カシギー・サバ 頭が固い木(カシギー)で作った杵のようになっているサメ。

5.ネムリブカ *Triaenodon obesus*

ニュータラ・サバ 眠ってばかりいるサメ。

ドチザメ科 Triakida

6.ドチザメ *Triakis scyllium*

ナカアー 語源は不詳。

テンジクザメ目 Orectolobiformes

ジンベイザメ科 Rhincodontidae

7.ジンベイザメ *Rhincodon typus*

ウフ・サバ/フップス・サバ 巨大なサメ。

トビエイ目 Myliobatiformes

アカエイ科 Dasyatidae

8.マダラトビエイ *Aetobatus ocellatus*

9.アカエイ *Dasyatis akajei* など

ツフィー 語源は不詳。

ウシバナトビエイ科 Myliobatidae

10.ウシバナトビエイ *Rhinoptera javanica*

ッス・ダク お腹の白いエイ。

トビエイ科 Myliobatidae

11.オニイトマキエイ *Manta birostris*

カマウタ 語源は不詳。

硬骨魚綱 Osteichthyes

ウナギ目 Anguilliformes

ウツボ科 Muraenidae

1.ウツボ *Gymnothorax kidako*

2.ドクウツボ *G. javanicus* など

ウズ ウツボ類の総称。

3.ハナビラウツボ *Gymnothorax chlorostigma*

アカ・ナズ 赤いウツボ。

4.ニセゴイシウツボ *Gymnothorax isingteena*

ツツー・ウズ ナマコのようなウツボ?

ニシン目 Clupeiformes

ニシン科 Clupeidae

1.ミズン *Herklotsichthys quadrimaculatus*

マー・ミジュヌ

2.ヤマトミズン *Amblygaster leiogaster*

カー・ミジュヌ

3. ミナミキビナゴ *Spratelloides delicatulus*

4. キビナゴ *Spratelloides gracilis*

バカ・ジャグ キビナゴ類の総称。幼魚はシー。

5. リュウキュウドロクイ *Nematalosa come*

ガーラ 語源は不詳。

ヒメ目 Aulopiformes

エソ科 Synodontidae

1. エソ類 ヒナジャ エソ類の総称。

キンメダイ目 Beryciformes

イトウダイ科 Holocentridae

1. トガリエビス *Sargocentron spiniferum*

ハス・ナガ 顔が長い魚。

2. スミツキカノコ *S. melanospilos*

イス・アカ・ユ 赤い魚、ユ/イユは魚。

3. ニジエビス *S. diadema* 4. アオスジエビス

S. tiere アカ・ユ

5. ハナエビス *S. ensiferum*

マラブニ・アカユ 語源は不詳。

6. アカマツカサ *Miripristis berndti*

7. セグロマツカサ *M. violacea*

フー・ミー・アカユ 大きな目の赤い魚。

カミソリウオ科 Solenostomidae

1. カミソリウオ *Solenostomus cyanopterus*

キー・ヌ・ハー・ツズウ 木の葉のように薄い魚。

トゲウオ目 Gasterosteiformes

ヤガラ科 Fistulariidae

1. アオヤガラ *Fistularia commersonii*

ヒー・フチャ 口笛を吹く魚。

ヨウジウオ科 Syngnathidae

1. イシヨウジ *Corythoichthys haematopterus*

2. オイランヨウジ *Doryrhamphus*

dactyliophorus など

イン・パウ ヨウジウオの総称、海の棒。

3. タカクラタツ *Hippocampus trimaculatus*

4. イバラタツ *Hippocampus histrix* など

イン・ヌーマ 海の馬、タツノオトシゴの総称。

ヘコアユ科 Centriscidae

1. ヘコアユ *Aeoliscus strigatus*

カタナ・ジャヤ 刀の鞘、タチウオと同名。

ボラ目 Mugiliformes

ボラ科 Mugilidae

1. オニボラ *Ellochelon vaigiensis*

フ・ガンマイ・ナガ・ユ 大頭の長い魚。

2. フウライボウ *Crenimugil crenilabis*

ナガ・ユ 長い魚。

トウゴロウイワシ目 Atheriniformes

トウゴロウイワシ科 Atherinidae

1. ヤクシマイワシ *Atherinomorus lacunosus*

ハダラ 語源は不詳。

スズキ目 Perciformes

フサカサゴ科 Scorpaenidae

1. ハナミノカサゴ *Pterois Volitans*

2. ネットアイミノカサゴ *P. antennata*

3. キリンミノ *Dendrochirus zebra*

イン・ドゥイ 海(イン)の鳥(ドゥイ)。

4. オニダルマオコゼ *Synanceia verrucosa*

アパ オコゼ類の総称。

ハタ科 Serranidae

1. ハナゴンベ *Serranocirrhitis latus*

ウルイス・ヌ・バン/ッヒシ・ヌ・ボースン
珊瑚礁の番人/サンゴ礁の甲板長(ボースン)

2. ハナゴイ *Pseudanthias pascalus*

- 3.アカネハネゴイ *P. dispar* など
ヒツ・ヌ・ブトウ ヒツ(スズメダイ類)の夫。
- 4.スジアラ *Plectropomus leopardus*
アカ・ディン お金になる赤い魚、高級魚。
- 5.コクハンアラ *P. laevis*
キイロ・アカディン/フウイ・アカディン
黄色いアカディン、大きなアカディン。
- 6.オオアオノメアラ *P. areolatus*
ウフ・アカディン 大きなアカディン。
- 7.バラハタ *Variola louti*
ブー・ナガ・ニバラ シガテラ毒を持つこと
がある、ニバラはハタ類の総称。
- 8.アオノメハタ *Cephalopholis argus*
ッフウ・ニバラ 黒いハタ。
- 9.ニジハタ *C. urodeta* 10.アカハナ *C.*
spiloparaea 11.シマハタ *C. igarashiensis*
アカ・ニバラ 赤いハタ。
- 12.アザハタ *C. sonnerati*
アカ・ウタイ・ニバラ 赤い額のハタ。
- 13.ユカタハタ *C. miniata*
ムギヤ・ヌ・バン・ニバラ キンメモドキ(カ
ツオの撒き餌にする)の番をするハタ。
- 14.ツチホゼリ *Epinephelus cyanopodus*
- 15.ヤイトハタ *E. malabaricus*
アウ・ニバラ 青いハタ。
- 16.アカハタ *E. fasciatus*
ミンタマ・ニバラ 目玉の大きいハタ。
- 17.アカハタモドキ *E. retouti*
アカ・フカイ・メンタマ 赤くて深くにいる
目玉の大きいハタ。
- 18.イシガキハタ *E. hexagonatus*
- 19.クロハタ *Aethaloperca rogae*
ガラサ・ニバラ カラスのような黒いハタ。
- 20.シロブチハタ *E. maculatus*
- 21.キビレハタ *E. macrospilus*
タラマ・ニバラ 多良間島の近海で釣れる。
- 22.マダラハタ *E. polyphkaidion*

- ユズー・ニバラ 夜釣りで釣れるハタ。
- 23.カンモンハタ *E. merra*
ッスサ・グー・ニバラ 平たい岩礁のニバラ。
- 24.タマカイ *E. lanceolatus*
- 25.チャイロマルハタ *E. coioides*
アラ・ニバラ 気性の荒いニバラ。
- 26.ヒトミハタ *E. tauvina*
マナイ・ニバラ 温和なハタ。
- 27.ホウキハタ *E. morrhua*
ッス・ニバラ 白いハタ。
- 28.ナミハタ *E. ongus*
ッフ・ニバラ 黒いハタ。
- 29.サラサハタ *Chromileptes altivelis*
ハイガサ・ニバラ ざらざらしたハタ。
- 30.アズキハタ *Anyperodon leucogrammicus*
ヤーラ・ミー・ニバラ 身が柔らかいハタ。

キントキダイ科 Priacanthidae

- 1.ホウセキキントキ *Priacanthus hamrur*
- 2.ミナミキントキ *P. Sagittarius*
- 3.チカメキントキ *Cookeolus japonicus* など
アカ・ミー 赤い目、キントキダイの総称。

テンジクダイ科 Apogonidae

- 1.ヤライイシモチ *Cheilodipterus*
Quinquelineatus
- 2.リュウキュウヤライイシモチ *C. macrodon*
イスダ 語源は不詳。
- 3.スカシテンジクダイ *Rhabdamia gracilis*
ナガ・ムギヤ 長いムギヤ、カツオの撒き餌。

アジ科 Carangidae

- 1.ツムブリ *Elagatis bipinnulata*
サダミ・ウブ サダミのような魚。
- 2.ヒレナガカンパチ *Seriola rivoliana*
アカ・バー 赤い歯 or 出っ歯。
- 3.ミナミイケカツオ *Scomberoides tol*

- ヒャー・ユ 速い魚。
4. イケカツオ *S. lysan*
フサリ・カッチュ カツオに似るが、それよりは劣る魚。
 5. カスマアジ *Caranx melampyrgus*
ツスウ・ツズ/ナガ・ウブ 白い魚、長いアジ。
 6. ミナミギンガメアジ *C. tille*
ガーラ 語源は不詳。
 7. ロウニンアジ *C. ignobilis*
フッ・ブン/ウブ 大きなアジ類。
 8. カッポレ *C. lugubris*
ッフ・ウブ 黒っぽい大型のアジ。
 9. メアジ *Selar crumenophthalmus*
ガツヌ アジ類の幼魚はウツミツ (ガマ)。
 10. マルコバン *Trachinotus blochii*
ガーラ 語源は不詳。
 11. コバンアジ *T. baillonii*
ナガジュウ・ウブ 長い尾の魚。
 12. マルヒラアジ *Carangoides caeruleopinnatus*
ヒラ・ガーラ 平たい大型のアジ。
 13. ナンヨウカイワリ *C. orthogrammus*
ウブ・ガマ 小型のウブ。
 14. ウマヅラアジ *Alectis indicus*
ヒラ・ガーラ 平たい大型のアジ。
 15. クサヤムロ *Decapterus macarellus*
ユルル・ガマ 弱りやすい魚。
 16. カイワリ *Kaiwarinus equula* ウブ 魚。
 17. インドオキアジ *Uraspis uraspis*
ウブ・ガマ 小型のウブ。
 18. ヒレジロマンザイウオ *Taractichthys steindachneri*
ッフ・ヒラ・ウブ 黒い平たいアジ。
 19. セイタカヒイラギ *Leiognathus equulus*
 20. シマヒイラギ *Leiognathus fasciatus* など
ガーラ 語源は不詳。
- フエダイ科 Lutjanidae
1. ヨスジフエダイ *Lutjanus kasmira*
アカンチャ 語源は不詳。
 2. ロクセンフエダイ *L. quinquelineatus*
ハンツキ・アカンチャ 模様のあるアカンチャ。
 3. ゴマフエダイ *L. argentimaculatus*
アカ・シュビ 赤い魚。
 4. ニセクロホシフエダイ *L. fulviflamma*
 5. アミメフエダイ *L. decussatus*
シュビ 魚の意?
 6. バラフエダイ *L. bohar*
アカ・イラウツ 赤いイラウツ、シガテラ毒を持つ個体がある。
 7. ヒメフエダイ *L. gibbus*
ウルヌハ 語源は不詳。
 8. センネンダイ *L. sebae*
アカ・ダイ 赤いタイ。
 9. アオダイ *Paracaesio caerulea*
シチュー・マツ マツはマチ類の総称。
 10. ウメイロモドキ *P. xanthura*
アウ・ガナマラ 青い頭。
 11. ハナフエダイ *Pristipomoides argyrogrammicus*
フーイ・アカンチャ 大きなアカンチャ。
 12. ヒメダイ *P. sieboldii*
クルキン・マツ 語源は不詳。
 13. オオヒメ *P. filamentosus*
マー・マツ 真のマツ、語源は不詳。
 14. ナガサキフエダイ *P. multidentis*
ツンミー・アカマツ 黄色い目のアカマツ。
 15. ハマダイ *Etelis coruscans*
メン・タイ 語源は不詳。
 16. アオチビキ *Aprion virescens*
アウ・マツ 青いマツ
 17. イトヒキフエダイ *Symphorus nematophorus* シュミヤカナ 語源不詳。
 18. オオグチイシチビキ *Aphareus rutilans*
ナガ・ジュウ・アカマツ 長い尾の赤いマチ。

タカサゴ科 Caesionidae

- 1.ウメイロモドキ *Caesio teres*
アウ・ブルクン 青いブルクン。ブルクンの語源は不詳。
- 2.ユメウメイロ *Caesio cuning*
フーイ・ツチャ／アウ・ガナマラ 青い頭。
- 3.クマササハナムロ *Pterocaesio tile*
- 4.イッセンタカサゴ *P. trilineata*
ブルクン ブルクンはタカサゴ類の総称。
- 5.タカサゴ *P. digramma*
アカ・ブルクン 赤いブルクン。
- 6.ニセタカサゴ *P. marri*
アウ・ブルクン 青いブルクン。

クロサギ科 Gerridae

- 1.ミナミクロサギ *Gerres oyena*
ツチュイ 語源は不詳。

イサキ科 Haemulidae

- 1.ヒレグロコシヨウダイ *Ictorhinchu slessonii*
- 2.チョウチョウコシヨウダイ *P.chaetodonoides*
ヒヤイバカマ 語源は不詳
- 3.ムスジコシヨウダイ *P. vittatus*
- 4.アヤコシヨウダイ *P. lineatus*
ウルヌハ 語源は不詳。
- 5.クロコシヨウダイ *P. gibbosus* 6.コロダイ
Diagramma picta
アナグロ 語源は不詳。

シマイサキ科 Haemulidae

- 1.コトヒキ *Terapon jarbua*
イーハナ 語源は不詳。

イトヨリダイ科 Nemipteridae

- 1.キツネウオ *Pentapodus caninus*
サダミ 語源は不詳。
- 2.フタスジタマガシラ *Scolopsis bilineata*

- 3.ヨコシマタマガシラ *S. lineata* など
ットウルン 語源は不詳。
- 4.ヒトスジタマガシラ *S. monogramma*
イノウ・サダミ 礁湖のサダミ。

タイ科 Sparidae

- 1.ミナミクロダイ *Acanthopagrus sivicolus*
ツン 語源は不詳。

フエフキダイ科 Lethrinidae

- 1.ノコギリダイ *Gnathodentex aureolineatus*
ミー・フサビ 肉が臭い?
- 2.ヨコシマクロダイ *Monotaxis grandoculis*
タイミ 語源は不詳。
- 3.シロダイ *Gymnocranis euanus*
ッス・ユ 白い魚。
- 4.メイチダイ *G. griseus*
ハイガサ・ッスユ ザラザラした白い魚。
- 5.サザナミダイ *G. grandoculis*
アマクサ 語源は不詳、美味。
- 6.ナガメイチ *G. microdon*
イミ・アマクサ 小さいアマクサ。
- 7.タマメイチ *G.satoi*
アカバー・ッスユ 赤い歯の白い魚?
- 8.オナガメイチダイ *G. elongatus*
イミ・ッスユ・ガマ 小さい白い魚。
- 9.ハマフエフキ *Lethrinus nebulosus*
タマビ 語源は不詳、美味。
- 10.ハナフエフキ *L. ornatus*
アカ・シュビ 赤いシュビ (魚)。
- 11.シモフリフエフキ *L. lentjan*
アカサ・タマビ ハマフエフキの私生児。
- 12.キツネフエフキ *L. olivaceus*
ムー・ナガ 顔が長いフエフキダイ
- 13.ホオアカクチビ *L. rubrioperculatus*
アカ・ウチャ 赤い口。
- 14.アミフエフキ *L. semicinctus*

イス・アカ・ウチャ 語源は不詳。

15.イトフエフキ *L. genivittatus*

ムッル 語源は不詳。

16.イツフエフキ *L. atkinsoni*

フツナズ 語源は不詳、美味。

17.アマクチビ *L. erythracanthus*

ヤキィ 語源は不詳。

18.ムネアカクチビ *L. xanthochilus*

アウムイ／ナガ・ウチャ・アカウチャ 語源は不詳・長い顔のアカウチャ。

ツバメコノシロ科 Polynemidae

1.ツバメコノシロ *Polydactylus plebeius*

ダー・ナガユ 語源は不詳。

ヒメジ科 Mullidae

1.ヨメヒメジ *Upeneus tragula*

2.コバンヒメ *Parupeneus indicus*

3.オジサン *P. multifasciatus* など

カタカス ヒメジ類の総称。

4.アカヒメジ *Mulloidichthys vanicolensis*

5.タカサゴヒメジ *Parupeneus heptacanthus*

ヒサ・カタカス 平たいカタカス。

6.モンツキアカヒメジ *M. flavolineatus*

イジャン 語源は不詳。

7.リュウキュウヒメジ *Parupeneus*

multifasciatus

8.マルクチヒメジ *P. cyclosomus*

アカ・カタカス 赤いヒメジ。

9.ホウライヒメジ *P. ciliates*

アマン・カタカス アマン (オカヤドカリ) で釣れるカタカス。

ハタンポ科 Pempheridae

1.ミナミハタンポ *Pempheris schwenkii*

カタツフ 語源は不詳。

2.リュウキュウハタンポ *P. adusta*

3.キンメモドキ *Parapriacanthus ransonneti*

ムギヤ 語源は不詳、カツオ漁の生餌。

チョウチョウウオ科 Chaetodontidae

1.フエヤッコダイ *Forcipiger flavissimus*

2.トゲチョウチョウウオ *Cheatodon auriga*

3.チョウハン *C. lunula*

4.チョウチョウウオ *C. auripes* など

マラウイ・カビッチャ カビッチャはチョウチョウウオ類の総称、マラウイは雌雄がいつも一緒に行動するから？

キンチャクダイ科 Pomacanthidae

1.サザナミヤッコ *Pomacanthus*

semicirculatus

2.ロクセンヤッコ *P. sextriatus*

3.シテンヤッコ *Apolemichthys trimaculatus*

マラウイ・カビッチャ キンチャクダイ類も含む。

ゴンベ科 Cirrhitidae

1.ホシゴンベ *Paracirrhites forsteri*

2.メガネゴンベ *P. arcatus*

3.イソゴンベ *Cirrhitus pinnulatus* など

ウルイス・ヌ・バン／ヒシ・ヌ・ボースン サングの番人／サング礁の航海長。

スズメダイ科 Pomacentridae

1.カクレクマノミ *Amphiprion ocellaris*

2.クマノミ *A. clarkia*

3.セジロクマノミ *A. sandaracinos*

4.ハナビラクマノミ *A. perideraion*

5.ハマクマノミ *A. frenatus*

6.トウアカクマノミ *A. polymnus*

アッパツミー・ヌ・ツズ クマノミ類の総称。

7.アマミスズメダイ *Chromis chrysurus*

ッフウ・ビツ／ブツィヤ 黒いヒツ。

- 8.デバスズメダイ *C. viridis*
 アウ・ビー 青い小さな魚、ビーは小さな魚？
- 9.モンズズメダイ *C. xanthurus*
- 10.キホシズメダイ *C. yamakawai*
 ヒツ スズメダイ科の総称、語源は不詳。
- 11.フタスジリュウキュウスズメダイ
Dascyllus reticulatus クルキヤ 黒い魚。
- 12.ミスジリュウキュウスズメダイ *D. aruanus*
 オヤド 語源は不詳。
- 13.ミツボシクロスズメダイ *D. trimaculatus*
 ハーナラ 語源は不詳。
- 14.ロクセンズメダイ *Abudefduf*
sexfasciatus
 タナッラ スズメダイ科の総称。
- 15.オヤビッチャ *A. vaigiensis*
 オヤド 語源は不詳。
- 16.レモンズズメダイ *Chrysiptera rex*
 アカ・ビー 赤い小さな魚、ビーは小さい魚。
- 17.ルリスズメダイ *C. cyanea*
 アウ・ビー 青い小さな魚。
- 18.クラカオスズメダイ *Amblyglyphidodon*
curacao ユカドゥ・ヒツ 語源は不詳。
- 19.ナミスズメダイ *A. leucogaster*
 ヒツ スズメダイ科の総称、語源は不詳。
- 20.クロスズメダイ *Neoglyphidodon melas*
- 21.ヒレナガスズメダイ *N. nigroris*
 クルキヤ 黒い魚。
- 22.ダンダラスズメダイ *Dischistodus*
prosopotaenia
- 23.クロソラスズメダイ *Stegaste nigricans*
 ヒツ スズメダイ科の総称、語源は不詳。
- 24.イシガキズズメダイ *Plectroglyphidodon*
dickii ブッジャ 語源は不詳。

イシダイ科 Polegnathidae

- 1.イシガキダイ *Oplegnathus punctatus*
 ガラサ・ニバラ カラスのようなニバラ。

メジナ科 Girellidae

- 1.クロメジナ *Girella leonine*
 フーイ・シチュー 大きいシチュー。
- 2.テンジクイサキ *Kyphosus cinerascens*
- 3.ミナミイスズミ *K. bigibbus*
 ババ 語源は不詳。

ベラ科 Labridae

- 1.シロクラベラ *Choerodon schoenleinii*
 マクブ 語源は不詳。高級魚。
- 2.キツネベラ *Bodianus bilunulatus*
 アマン・ファヤ オカヤドカリを食うベラ。
- 3.ホクトベラ *Anampses meleagrides*
 スブサ 語源は不詳。
- 4.クギベラ *Gomphosus varius*
 ヒー・ダキ・フチャ 火を持つ口（頭部が赤い魚）。
- 5.タレクチベラ *Hemigymnus melapterus*
 スバツ・タイ 唇が垂れているベラ。
- 6.ホンソメワケベラ *Labroides L. dimidiatus*
 ビジュ・ファヤ 餌を奪う奴。
- 7.セナスジベラ *Thalassoma hardwicke*
 アウ・スミヤ 青い〜、語源は不詳。
- 8.ヤマブキベラ *T. lutescens*
 アウ・フタラ 青いフタラ、フタラの語源は不詳。
- 9.リュウグウベラ *T. trilobatu*
- 10.トカラベラ *Halichoeres hortulanus*
 アタキヤ 語源は不詳。
- 11.ミツボシリュウセン *Halichoeres*
trimaculatus 12.スジベラ *Coris*
dorsomacula 13.シチセムスベラ *C.*
batuensis フサビ 語源は不詳。
- 14.ホシテンス *Iniistius pavo*
 プルル 語源は不詳。
- 15.ツユベラ *Coris gaimard*
 アカミー・プルル 語源は不詳、赤っぽいプ

ツル。

16.シロタスキベラ *Hologymnosus doliatus*

17.ギチベラ *Epibulus insidiator*

フタラ 語源は不詳。

18.メガネモチノウオ *Cheilinus undulates*

フーイ・ヒロシ 大きなヒロシ、ヒロシはモチノウオ類の総称。

19.アカテンモチノウオ *C. chlorourus*

ヒサシ モチノウオ類の総称、語源は不詳。

20.ミツバモチノウオ *C. trilobatus*

ハスガイ (ハイガサ)・ヒロシ、語源は不詳。

21.ヤシャベラ *C. fasciatus*

ヒー・ダキ・ファ/アカ・ガナマイ・ヒロシ 赤い頭のモチノウオ。

22.カタグロホホスジモチノウオ *Oxycheilinus*

orientaris ヒロシ 語源は不詳。

23.ヒトスジモチノウオ *O. unifasciatus*

24.ホホスジモチノウオ *O. digramma*

ヒロシ 語源は不詳。

ブダイ科 Scaridae

1.ミゾレブダイ *Leptoscarus vaigie nsis*

ムー・ヌ・イラウツ 海藻・藻場のブダイ。
イラウツはブダイの総称

2.イロブダイ *Cetoscurus bicolor*

アウ・イラウツ/ヤマグ・イラウツ。青いブダイ/気性の荒いブダイ。

3.キツネブダイ *Hipposcurus longiceps*

ブータ 語源は不詳。

4.ハゲブダイ *Chlorurus sordidus*

アカバー/フーツ・バー・イラウツ 出っ歯のブダイ。

5.オオモンハゲブタイ *C. bowersi*

アカ・ガマチャ 赤い頬のブダイ。

6.ナンヨウブダイ *C. microrhinos*

アウ・ハツ 青い〜、語源は不詳。

7.オウムブダイ *Scarus psittacus* 8.オビブダ

イ *S. schlegeli* 9.スジブダイ *S. rivulatus*

10.キビレブダイ *S. hypselopterus*

イラウツ イラウツはブダイの総称。

11.ヒブダイ *S. ghobban*

アカ・ジャスフ 赤い〜、ジャスフの語源は不詳。

12.ヒメブダイ *S. oviceps*

ブータ 語源は不詳。

13.ナガブダイ *Scarus rubroviolaceus*

アウ・イラウツ 青いブダイ。

14.アミメブダイ *Scarus frenatus*

ツツ・イラウツ ツツの語源は不詳。

15.カンムリブダイ *Bolbometopon muricatu*

イラウツ 語源は不詳。

キツネアマダイ科 Malacanthidae

1.キツネアマダイ *Malacanthus latovittatus*

ビジュ・バカヤ 餌を奪う奴。

トラギス科 Pinguipedidae

1.オグロトラギス *Parapercis pacifica*

2.ワスケトラギス *P. millepunctata*

3.ダンダラトラギス *P. cylindrical*

ッス・ビュース 白い〜 トラギス類の総称
語源は不詳。

イソギンポ科 Blenniidae

1.モンツキカエルウオ *Blenniella chrysospilos*

2.ヤイトギンポ *Glyptoparus delicatulus*

タカマ ギンポ類とハゼ類の総称。

ヘビギンポ科 Tripterygiidae

1.ホホグロギンポ *Blenniella bilitonensis* 2.

ヤエヤマギンポ *Salaris fasciatus* など

タカマ ギンポ類とハゼ類の総称。

3.ミナミギンポ *Plagiotremus rhinorhynchos*

ビジュ・ファヤ 餌取り。

ハゼ科 Gobiidae

1. ナメラハゼ *Callogobius okinawae*
2. サザナミハゼ *Valenciennea longipinnis* など
タカマ ギンポ類とハゼ類の総称。
3. ミナミトビハゼ *Periophthalmus argentilineatus* ハイ・ダカマ 這うタカマ。

マンジュウダイ科 Ehippidae

1. ミカヅキツバメウオ *Platax boersii*
イビラ 語源は不詳。
2. ツバメウオ *P. teira* 3. アカクグリ *Platax pinnatus* ウツ・ビラ 沖のイビラ。

アイゴ科 Siganidae

アイゴの総称はアイ／ミヤーン。
幼魚はツサ（ス）フで塩辛で珍重される。

1. ヒフキアイゴ *Siganus unimaculatus*
ハンツキ・アカ・アイ 模様のある赤っぽいアイ。
2. ハナアイゴ *S. argenteus*
マー・アイ 真のアイ。
3. アミアイゴ *S. spinus*
ハラフニャ 語源は不詳、池間島では一番好まれる。
4. アイゴ *S. fuscescens* 5. シモフリアイゴ *Siganus fuscescens* ミヤーン 語源は不詳。
6. ゴマアイゴ *S. guttatus*
ヤドゥ・アイ 語源は不詳。
7. ヒメアイゴ *S. virgatus* 8. マジリアイゴ *S. puellus* 9. サンゴアイゴ *S. corallines* など
アカ・アイ 赤いアイ。
10. ブチアイゴ *S. punctatus*
ウキヤ・アイ 沖のアイ。

ツノダシ科 Zanclidae

1. ツノダシ *Zanclus cornutus*
ユヌ・ンブ 同じ重さ、腹の中央を指で支え

ると前後が釣り合う。

ニザダイ科 Acanthridae

1. テングハギ *Naso unicornis*
マブユ 高級魚、まぶい魚？
2. サザナミトサカハギ *N. vlamingii*
3. ヒメテングハギ *N. annulatus*
マスイ 語源は不詳。
4. ミヤコテングハギ *N. lituratus*
アカ・ジュウ・ガーミ 赤い尾のガーミ。
5. ナンヨウハギ *Paracanthurus hepatus*
アウ・ユラ 青いゆら。
6. ヒレナガハギ *Zebrasoma veliferum*
ビッビャ 語源は不詳。
7. シマハギ *Acanthurus triostegus*
ニニムヤ 語源は不詳。
8. ニジハギ *A. lineatus* ツンダン 語源は不詳。
9. ヒラニザ *A. mata* トカジャ 語源は不詳。
10. モンツキハギ *A. olivaceus*
アカ・バニ・クースキャ 赤いヒレの黒い魚。
11. メガネクロハギ *A. nigricans*
ハン・ツキ・クースキャ 模様のある黒い魚。
12. ニセカンランハギ *A. dussumieri*
イナウ・クースキャ 礁湖にいる黒い魚。
13. クログチニザ *A. pyroferus* 14. クロハギ *A. xanthopterus* 15. ナミダクロハギ *A. japonicus* 16. ゴマハギ *Z. scopas*
クースキャ 黒いニザダイの総称。

カマス科 Sphyraenidae

1. オニカマス *Sphyraena barracuda*
ガバー・カマサー 大きなカマス。
2. ヤマトカマス *S. japoni*
カマサー カマスの総称。
3. ホソカマス *S. helleri*
アウ・カマス 青いカマス。

サバ科 Scombridae

1. グルクマ *Rastrelliger kanagurta*
ビーケン 語源は不詳。
2. イソマグロ *Gymnosarda unicolor*
トカキン 語源は不詳。
3. ビンナガ *Thunnus alalunga* 4. キハダ
T. albacares シュビ 語源は不詳。
5. クロマグロ *T. orientalis*
ツフ・マグロ? 黒いマグロ、ホンマグロ
美味。
6. スマ *Euthynnus affinis*
ウブ・シュー 語源は不詳、美味。
7. カツオ *Katsuwonus pelamis*
カッチュ 鰹節の原料、大きさにより幼魚はマンパ、小型はクバン、中型はチュウバン、大型はダイバン、特大はトビダイと呼び分ける。
8. ゴマサバ *Scomber australasicus*
カバス・ガッチュ 香ばしいカツオ。
9. カマスサワラ *Acanthocybium solandri*
サーラ 語源は不詳。
10. ヒラソウダ *Auxis thazard thazard*
マンパ 語源は不詳。

タチウオ科 Scombridae

1. タチウオ *Trichiurus japonicus*
カタナ・ジャヤ 刀の鞘。

シイラ科 Coryphaenidae

1. シイラ *Coryphaena hippurus*
ヒーユ 語源は不詳。

マカジキ科 Istiophoridae

1. クロカジキ *Makaira Mazara* 2. メカジキ
Xiphias gladius カジキ 和名と同じ。
3. バショウカジキ *Istiophorus platypterus*
バニン 語源は不詳。

コバンザメ科 Echeneidae

1. コバンザメ *Echeneis naucrates*
フナ・ストウイ 船と一緒にいる魚。

ダツ目 Beloniformes

ダツ科 Belonidae

1. リュウキュウダツ *Strongylura incisa*
スズ ダツ類の総称。
2. オキザヨリ *Tylosurus crocodilus crocodilus*
マー・スズ 美味しいダツ。
3. ハマダツ *Ablennes hians*
ウツナー・スズ 沖縄のダツ。

サヨリ科 Hemiramphidae

1. センニンサヨリ *Hyporhamphus quoyi*
ダキャ・ウチ 受け口。
2. ホシザヨリ *Hemiramphus far*
ミズ・ヒヤッル 水面を走る魚。
3. ナンヨウサヨリ *Hemiramphus lutkei*
ミー・ヒヤッル 雌のサヨリ?

トビウオ科 Exocoetidae

1. アヤトビウオ *Cypselurus poecilopterus crassus* 2. マトトビウオ *Cheilopogon spilopterus* など
トビ・ユ トビウオの総称、飛ぶ魚。

カレイ目 Pleuronectiformes

ヒラメ科 Paralichthyidae

1. テンジクカレイ *Pseudorhombus arsius*
ッスサ 平たい魚、カレイとヒラメ類の総称。

ダルマカレイ科 Bothidae

1. モンダルマカレイ *Bothus mancu* ッスサ

ササウシノシタ科 Soleidae

1. アマミウシノシタ *Synaptura marginata*

ッスサ フランス料理のムニエルに使用されるが、池間島では異形の魚として食べない。

フグ目 Tetraodontiformes

モンガラカワハギ科 Balistidae

- 1.アカモンガラ *Odonus niger*
- 2.ムラサメモンガラ *Rhinecanthus aculeatus*
- 3.オキハギ *Abalistes stellatus*
フフビ モンガラカワハギ類の総称。
- 4.タスキモンガラ *R. rectangulus*
ッスウ・ガー・ッフビ 白い革のモンガラ。
- 5.ツマジロモンガラ *Sufflamen chrysopteron*
ッスウ・ッフビ 白いッフビ。
- 6.モンガラカワハギ *Balistoides conspicillum*
ハン・ツキ・フウッビ 模様のあるカワハギ。
- 7.キヘリモンガラ *Pseudobalistes flavimarginatus*
- 8.イソモンガラ *P. fuscus*
- 9.ゴマモンガラ *Balistoides viridescens*
- 10.アオスジモンガラ *Xanthichthys caeruleolineatus* など
ズキラ 大型のモンガラカワハギの総称。

カワハギ科 Monacanthidae

- 1.ハクセイハギ *Cantherhines dumerilli*
ウルイス・カンムラー サンゴに噛みつく奴。
- 2.ソウシハギ *Aluterus scriptus*
- 3.ウスバハギ *A. Monoceros* ヤイ・タナビ 駄目なカワハギ。

ハコフグ科 Ostraciidae

- 1.ミナミハコフグ *Ostracion cubicum*
- 2.クロハコフグ *O. meleagris*
クータ 語源は不詳。

フグ科 Teraodontidae

- 1.コクテンフグ *Arothron nigropunctatus*
- 2.モヨウフグ *A. Arothron stellatus*
- 3.ミゾレフグ *A. meleagris*
フッバタ・ウニャ 大きなお腹のフグ、フグ

類の総称。

ハリセンボン科 Diodontidae

- 1.ハリセンボン *Diodon holocanthus*
- 2.ネズミフグ *Diodon hystrix*
ットウトウ ハリセンボンの一般名称。
- 3.ヒトヅラハリセンボン *Diodon liturosus*
アカ・バニ・ットウトウ 赤いヒレのハリセンボン。

【魚類の部位名】

- ※頭 カンマイ ※目 ミー
- ※頭頂部の皮 ヒディイ・ガー
- ※頬 カマツ ※目の横の皮 ミガー
- ※魚のカマ クユイ ※腹部 ハラガー ※魚の皮 カー ※鱗 (ウロコ) イーキ
- ※尾 ジュウ ※脊椎骨 ナカブニ
- ※尾骨 ジュウ・ブニ ※小骨 ツーツ
- ※鰭 (ヒレ) ツーツ ※鰓 (エラ) サイ
- ※はらわた バタ ※魚肉 ミー
- ※腹 (ハラ)・トロの部分 ハラガー
- ※心臓 ウドウルツ・ガマ/マラ・ガマ
- ※雌雄の魚卵 ハラン
- ※雌の卵 ミー・バラン/アカ・バラン
- ※雄の卵 (白子) ビキ・バラン/ッスウ・バラン

II.両生綱 Amphibia

無尾目 Anura

ヒキガエル科 Bufonidae

- 1.ミヤコヒキガエル *Bufo gargarizans miyakonis*
フナタ 語源は不詳、オタマジクシはズーミガ。

ヌマガエル科 Dicroglossidae

- 2.サキシマヌマガエル *Fejervary sakishimensis*
ウンタ 語源は不詳。

III.爬虫綱 Reptilia

カメ目 Testudines

ウミカメ科 Cheloniidae

- 1.アカウミガメ *Caretta caretta* アカ・ガミ
甲羅の色から。剥製、肉は食べた。
- 2.アオウミガメ *Chelonia mydas* アウ・ガミ
甲羅の色から。剥製、肉は食べた。
- 3.タイマイ *Eretmochelys imbricata* ベッコウ
べっ甲細工、剥製。

カミはカメ類の総称

イシガメ科 Geoemydidae

- 4.セマルハコガメ *Cuora flavomarginata*
ヤーマ・カミ・ガマ 八重山の亀、八重山や
台湾から持ち込まれた。

有隣目 Squamata

ヤモリ科 Gekkonidae

- 5.ホオグロヤモリ *Hemidactylus frenatus*
- 6.ミナミヤモリ *Gekko hokouensis* など
ヤー・ズミヤ 天井で虫を捕る。

アガマ科 Agamidae

- 7.キノボリトカゲ *Diploderma polygonatum*
ヤーマ・ヌ・ハズブイ・イン・ガマ 八重山
の足の折れた小さい犬。

トカゲ科 Scincidae

- 8.サキシマスベトカゲ *Scincella boettgeri*
- 9.ミヤコトカゲ *Emoia atrocostata*
バカッジャ 語源は不詳。
- 10.キシノウエトカゲ *Plestiodon kishinouyei*
ヒーマ・バカジャ 語源は不詳、日本最大
のトカゲ。

カナヘビ科 Lacertidae

- 11.ミヤコカナヘビ *Takydromus toyamai*
クース・ファヤ クース (島唐辛子、ナス科
キダチトウガラシ) を食べる者。宮古島固有種。

ナミヘビ科 Colubridae

- 12.サキシマスジオ *Elaphe taeniura schmackeri*
アウナズ 青っぽい色の大型の蛇。
- 13.ミヤコヒヴァ *Hebius conelarus*
- 14.サキシママダラ *Lycodon rufozonatus walli*
蛇のことはハウと総称する。這うが語源。

ウミヘビ科 Hydrophiidae

- 15.エラブウミヘビ *Laticauda semifasciata*
ウナズ 語源は不詳、燻製して出荷した。
- 16.シマウミヘビ *Myrichthys colubrinus*
マーナズ
- 17.マダラウミヘビ *Hydrophis cyanocinctus*
ヤマガラ・ウナズ

IV.鳥綱 AVES

キジ目 Galliformes

キジ科 Phasianidae

- 1.ニワトリ ナー・トゥイ 庭の鳥の意。セキ
シヨクヤケイを家禽化したもの。軍鶏もいた。

カモ目 Anseriformes

カモ科 Anatidae

- 2.カモ類 フウ・ズマ・ン・ガーナ 他所の大
きな島 (国) のカモ類の総称、家禽のアヒル
はガーナと呼ぶ

ハト目 Columbiformes

ハト科 Columbidae

- 3.リュウキュウキジバト *Streptopelia rientalis*
stimpsoni ンー・バトゥ 野の鳩。

4. チュウダイズアカアオバト *Treron formosae medioximus* アウ・バトゥ 灰緑色と黄緑色。

ミズナギドリ目 Procellariiformes

アホウドリ科 Diomedidae

5. アホウドリ *Phoebastria albatrus*
イクン・ヌ・フウ・ドゥイ 尖閣諸島の大きな鳥、祖父は卵を取って食べた。

ミズナギドリ科 Procellariidae

6. オオミズナギド *Calonectris ucomelas*
カゴ カツオ漁の鳥山を作る。

カツオドリ目 Suliformes

カツオドリ科 Sulidae

7. カツオドリ *Sula leucogaster*
ウンカイ カツオ漁の鳥山をつくった。

ウ科 Phalacrocoracidae

8. カワウ *Phalacrocorax carbo*
アタフ 大食い、大食漢の意。

ペリカン目 Pelecaniformes

サギ科 Ardeidae

9. リュウキュウヨシゴイ *Ixobrychus innamomeus*
ター・ヌ・アカ・ドゥイ 湿地の赤い鳥。

10. ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*
ユウ・ガラサ/ユガラ・ガッサ 夜のカラス、鳴き声が不吉とされる。

11. アオサギ *Ardea cinereal*
アウ・ユーサ 灰色のサギ、サギ類の総称がユーサ。

12. ダイサギ *Ardea alba* 13. チュウサギ *Ardea Intermedia* 14. コサギ *Egretta garzetta*
ツスウ・ユーサ 白いサギの総称。

15. クロサギ *Egretta sacra*

ツフ・ユーサ 黒いサギ、白色型もツス・ユーサ。

ツル目 Gruiformes

クイナ科 Rallidae

16. バン *Gallinula chloropus*
ター・ヌ・ツフ・ドゥイ 湿地の黒い鳥。

チドリ目 Charadriiformes

チドリ科 Charadriidae

17. シロチドリ *Charadrius alexandrinus* など
ハマツ・トゥラ 砂浜を走るチドリ類のこと。

18. ムナグロ *Pluvialis fulva*
ハル・ガーナ 畑の渡り鳥。

シギ科 Scolopacidae

19. シギ類 アヤハマ シギ類の総称、語源不詳。

ミフウズラ科 Turnicidae

20. ミフウズラ *Turnix suscitator*
ウツジャ・ガマ 一妻多夫で。父親が子育てすることは、ほとんど知られていない。

カモメ科 Laridae

21. クロアジサシ *Anous stolidus*
フディ・ヌ・ガラサ フディ岩のカラス。

22. コアジサ *Sterna albifrons*

23. ベニアジサシ *Sterna dougallii*

24. エリグロアジサシ *Sterna sumatrana*
ツキャフ 海面の小魚を獲るために、勢いよく飛び込む白いアジサシ類の総称。

25. マミジロアジサシ *Sterna anaethetus*
タカ・ミー 高い場所から魚群を見張っている。

タカ目 Accipitriformes

ミサゴ科 Pandionidae

26. ミサゴ *Pandion haliaetus haliaetus*

ツズ・ファイ・タンカ 魚を食べるタカ。

タカ科 Accipitridae

27. アカハラダカ *Accipiter soloensis*

タカ・ヌ・ツファ・ガマ／ンカイ・ダカ
別種のサシバの子供だと思われていた。

28. サシバ *Butastur indicus*

タカ 昔は貴重な食料や玩具になった。幼鳥はアウミー（青い目）、成鳥はツンミー（黄の目）。老成した鳥をアカミー（赤い目）と呼ぶ。越冬するサシバはスマ・バン・ダカ（島を番する鷹）やウティ・ダカ（落ち鷹）と呼ぶ。

フクロウ目 Strigiformes

フクロウ科 Strigidae

29. リュウキュウコノハズク *Otus elegans*

30. リュウキュウアオバズク *Ninox scutulata totogo* など
マユ・ツキャフ 猫（マユ）のような鳴き声から命名？

サイチョウ目 Bucerotiformes

ヤツガシラ科 Upupidae

31. ヤツガシラ *Upupa epops*

カントウ・ドゥイ カントウは髪型的一种。興奮すると冠羽を扇状に開く。

ブッポウソウ目 Coraciiformes

カワセミ科 Alcedinidae

32. リュウキュウアカショウビン *Halcyon coromanda bangsi*

クカル 鳴き声から命名、家に飛び込むのは体色の赤から火事が連想され不吉とされることもある。

ハヤブサ目 Falconidae

ハヤブサ科 Falconidae

33. ハヤブサ *Falco peregrinus*

ヒャー・トゥラ 速く飛ぶ鳥。

スズメ目 Passeriformes

カササギヒタキ科 Monarchidae

34. サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata*

ナガ・ジュー・トゥイ 長い尾の鳥。

カラス科 Corvidae

35. リュウキュウハシブトガラス *Corvus macrorhynchos connectens*

ガラサ 鳴き声に由来、不吉な鳥とされる。

ツバメ科 Hirundinidae

36. ツバメ *Hirundo rustica*

マミ・ナラシャ 豆が実るころ、渡ってくる鳥。

ヒヨドリ科 Pycnonotidae

37. ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*

フウ・サイ 喧しく鳴く様子から名付けた？

ウグイス科 Cettiidae

38. ウグイス *Horornis diphone*

アウ・マチャ（・ガマ） 青（緑）色の小鳥。

メジロ科 Zosteropidae

39. リュウキュウメジロ *Zosterops japonicus loochooensis*

ウフ・ミー・マチャ・ガマ 大きい目の小鳥、ガマは可愛いを表す接尾語。

セッカ科 Cisticolidae

40. セッカ *Cisticola juncidis*

ガヤ・ン・チュ・ガマ イネ科チガヤの群落にいる「チュッ、チュッ」と鳴く小鳥の意、

ヒバリ科ヒバリと勘違いされている。

ムクドリ科 Sturnidae

- 41.ムクドリ *Sturnus cineraceus*
- 42.コムクドリ *Sturnus philippensis*
- 43.カラムクドリ *Sturnus sinensis*
- 44.ホシムクドリ *Sturnus vulgaris*
- 45.ギンムクドリ *Sturnus sericeus*
ヤマ・ナズキヤ、タカ・ヌ・ハンマイ ムク
ドリ類の総称、樹冠をならすように波状に飛
行するから。サシバの餌になると考えられて
いた。

ヒタキ科 Muscipidae

- 46.シロハラ *Turdus pallidus*
フウ・サイ 冬鳥のシロハラがフウ・サイの
説もある。

スズメ科 Passerinae

- 47.スズメ *Passer montanus*
ツファ・ドゥラ 黒っぽい鳥。

セキレイ科 Motacillidae

- 48.ツメナガセキレイ *Motacilla flava*
- 49.キセキレイ *Motacilla cinerea*
- 50.ハクセキレイ *Motacilla alba* など
ジュウ・ナガ・ドゥイ・ガマ 尾 (ジュウ)
の長 (ナガ) い鳥 (ドゥイ)、セキレイ類の
総称。

V.哺乳綱 Mammalia

トガリネズミ形目 Soricomorpha

トガリネズミ科 Soricidae

- 1.ジャコウネズミ *Suncus murinusi*
ジャカ (ガマ) 殺したら寿命が3年伸びる？

翼手目 Chiroptera

ヒナコウモリ科 Vespertilionidae

- 2.アブラコウモリ *Pipistrellus abramus*
カーサガリヤ 洞窟や井戸にいた。

ネズミ目 Rodentia

ネズミ科 Muridae

- 3.ハツカネズミ *Mus musculus*
- 4.クマネズミ *Rattus rattus*
- 5.ドブネズミ *Rattus norvegicus*
ユムヌ 語源は不詳。

食肉目 Carnivora

イヌ科 Canidae

- 6.イヌ *Canis lupus familiaris*
イン 薬用として食べることもあった、ペット。

ネコ科 Felidae

- 7.ネコ *Felis silvestris catus*
マユ 薬用として食べることもあった、ペット。

奇蹄目 Perissodactyla

ウマ科 Equidae

- 8.ウマ *Equus caballus* ヌウマ
農耕・荷馬車、ミヤコウマは在来種。

クジラ偶蹄目 Cetartiodactyla

イノシシ科 Suidae

- 9.ブタ *Sus scrofa*
ワー 昔はカンニガイ (神願い) に使用、め
ったに口にできなかった。

ウシ科 Bovidae

- 10.ヤギ *Capra hircus*
ヒンジャ 食肉用、他の地域に比べて少ない。
- 11.ウシ *Bos taurus* ウス 農耕用。

ナガスクジラ科 *Balaenoptera physalus*

12. ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae*

フッジャ 巨大な魚の意、リーフに座礁したことが有り、フッジャビジ（干瀬）の名が残る。何種かを含むようだ。

マイルカ科 *Delphinidae*

13. ハンドウイルカ *Tursiops truncatus*

14. ミナミハンドウイルカ *Tursiops aduncus*

15. マダライルカ *Stenella attenuata* など

ヒートウ 獲れた時は食料にした。小さいのが美味しい。

海牛目 *Sirenia*

ジュゴン科 *Dugongidae*

16. ジュゴン *Dugong dugon*

ジャン 絶滅危惧 IA 類 (CR)。近年は目撃されてないが、食み跡は見つかっている。植物のトチカガミ科のリウキュウスガモやウミヒルモなどにジャン・ヌ・フサ（ジュゴンが食べる草）として方言が残っている。

あとがき

父・仲地義吉(2016年没)が魚類図鑑を見て、島の方言名を残したいと書き留めたノートを引き継いだのが2009年でした。それにはニバラだけで12種、イラウツも10種と大雑把に記されていました。

2012年からは叔父の嵩原忠太郎と島の有名漁師の伊良波進氏を何回も訪問し、お話を聞かせて貰いました。お二人のご冥福をお祈り申し上げます。

そして何より勉強になったのは、島の70代や80代のベテラン漁師たちとの会話でした。図鑑や写真を持っていくと興味を示してくれ、色々な話を聞かせてくれました。ご協力いただいた方々が多数いらっしゃってお一人お一人の

氏名を上げられませんが、「ミジュンマのサミット」の皆様には感謝申し上げます。

義兄の佐久本茂美には「魚の部位名」などを教えてもらっています。

なんとか「池間島の動物方言」記録としてまとめることができました。その過程を通して、人々と自然との深い関わりを再認識しました。とりわけ、故郷・池間島における「海の生物」の方言名は、漁業を生業としてきた先人ならではの命名法であると気づきました。

また、「池間島の動物方言」をまとめることで得られる物が多く、島言葉を消滅させてはならないと強く決心しています。

※「ミジュンマのサミット」とは、池間島の広場で公民館もあり、祭りの時はみんなでクイチャーを踊る場所です。

公民館の日影や防波堤に、現役や引退した漁師さんが10人ほど(メンバーは2/3がほぼ固定で、残りは日によって違う)集まって、明日の天気や魚の釣れた場所などの情報交換をしています。その様子をサミット(首脳会議)になぞらえました。

参考文献

- 宮古島市史誌編さん委員会(2019) 宮古島市史第三巻自然編 第I部(本編) 宮古の自然 宮古島市教育委員会
- 宮古島市史誌編さん委員会(2020) 宮古島市史第三巻自然編 第I部 宮古の自然 別冊 宮古島市教育委員会
- 伊良部の自然編集委員会(1990) 伊良部の自然動物編 伊良部町
- 宮古野鳥の会(2000) 宮古野鳥の会25周年記念誌 平良市
- 宮古野鳥の会(2014) 宮古野鳥の会40周年記念誌 宮古島市
- 横井謙典(1989) 方言でしらべる沖縄の魚図鑑

沖縄出版

リュウホン釣り同好会(1994) 釣りと魚の図鑑

リュウホン

城 和人(2013) おきなわの釣り魚図鑑

フィッシング沖縄社

森田 真弘(1961) 仲間屋真伝(池間島漁業略

史) 内外水産研究所

高橋 そよ(2018) 沖縄素潜り漁師の社会誌

コモンズ

野口武徳(1972) 沖縄池間島民族誌 未来社

平良新弘(2002) 海人の島 自家版

伊良波 盛男(2018) わが池間島 改訂版

池間郷土学研究所

伊良波 彌(2013) 池間島の視点から

だしきゃ企画

イキマ島こよみ(2015) 池間の海のいきものカ

レンダー NPO 法人池間福祉支援センター

イキマ島こよみ(2016) すまぬむぬカレンダー

NPO 法人池間福祉支援センター

ウィキペディア - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/>

